



梅だより



～午後のひととき～

LIBRARY
 図書館 広報誌 24号
 2008年 11月発行

SHOKEI GAKUIN UNIVERSITY

URL : <http://www.shokei.ac.jp/lib/>
 名取市ゆりが丘4丁目10-1
 TEL : 022-381-3440 FAX : 022-381-3441

図書館の便利な使い方 貸出編・1



●「実習」「卒研・卒論」貸出

「実習で図書館の資料を使いたい！」
「卒論のために少し長く借りたい！」

⇒ 実習、卒研・卒論貸出の貸出 4週間／5冊
(通常の貸出期間、及び冊数：2週間／7冊)

カウンターで学生証と資料を提示する際に、実習、卒研、卒論貸出を利用したいとお申し出ください。
※「通常の貸出」から「実習、卒研・卒論貸出」への変更は出来ませんので、ご了承下さい。
※「実習、卒研・卒論貸出」の場合、延長は出来ませんので、ご了承下さい。
※「通常の貸出」と「実習、卒研・卒論貸出」の併用は出来ません。

●読みたい本を予約

「読んでみたい本があるけど、借りられている」

⇒「予約」をすると便利です！



予約の仕方は二通りあります

- ★「予約申込書」に記入して、カウンターに申し込む。
- ★マイライブラリを使用して、パソコンから申し込む。

準備が出来ましたら、申し込んだ方法でご連絡いたします。

※予約した資料は、連絡後2週間以内に貸出手続きをお願いいたします。。

◆ご不明な点はカウンターへおたずね下さい！

★ 日本史の中のクリスマス Part I ★

クリスマスが近づいてきました！

日本の年中行事といってもおかしくないほど定着しているクリスマスですが、意外にもその歴史は知らないことが多いのではないのでしょうか。

クリスマスがどのようにして日本にやってきて、今のように定着したのか。今回は「日本史の中のクリスマス」と題して、日本へクリスマスがどのように入ってきて、どのように定着していったのかを2回に分けて紹介します。

第1回目は、キリスト教伝来期から江戸時代のクリスマスを紹介します。

★キリスト教の伝来と日本初のクリスマスミサ

1549（天文 18）年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが薩摩に上陸し、キリスト教の布教を開始したことは皆さんご存知だと思います。キリスト教で初めてクリスマスをお祝ったのが4世紀中頃ということなので、恐らく、ザビエルが日本に滞在していたときもクリスマスをお祝ったと思われます。しかし、こちらは記録がありません。

ザビエルが日本を去った後、1552（天文 21）年 12月 10日、周防（山口県）で行われたクリスマスが、記録が残っている中で、日本で最初のクリスマスだと言われています。当時クリスマスは「**ナタラ（ナタル）**」と呼ばれていました。周防は領主の大内義隆が、ザビエルの滞在時に教えを受けたことがあり、そのせいで領内にもキリスト教が広まっていた。降誕祭の前夜（クリスマス・イブ）から領内のキリシタンたちは司祭館へ集まり、外国人宣教師と日本人キリシタンでローマ字が読める少年が交代で朗読するデウス（天主）や創造主の話を一晩中聞いていたそうです。朝のミサのあとは世界の創造、イエス・キリストの生涯についての説教がありました。日本で初めてのクリスマスは全部で6回のミサが行われ、宣教師たちは熱心なキリシタンたちが心からクリスマスをお祝福した様子を見て、神に感謝したといわれています。

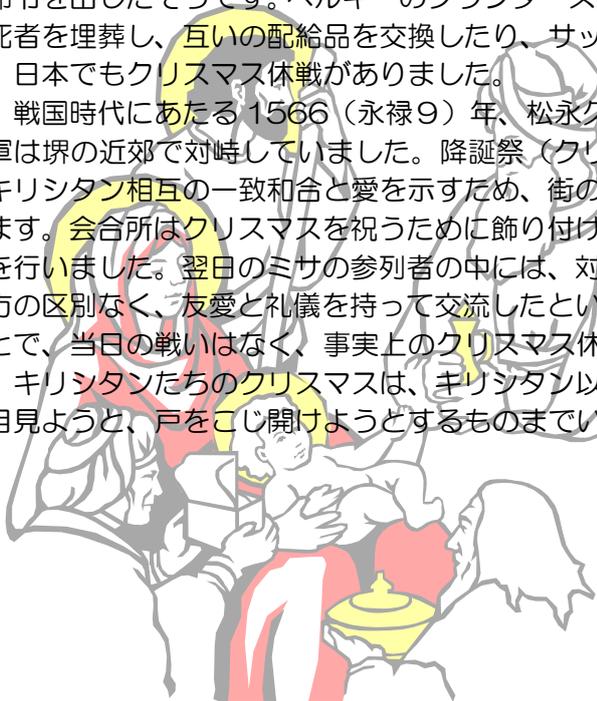
★日本でのクリスマス休戦

クリスマス休戦といえば、1914年、第一次世界大戦中のクリスマス休戦を思い浮かべる人もいると思います。ドイツ軍がクリスマスツリーにキャンドルを灯すと、対峙していた連合軍も自発的に停戦命令を出したそうです。ベルギーのフランダース地方で、両軍が対峙していた中央で彼らは顔を合わせ、死者を埋葬し、互いの配給品を交換したり、サッカーの試合に興じたと記録があります。

日本でもクリスマス休戦がありました。

戦国時代にあたる1566（永禄9）年、松永秀軍と三好三人衆（三好長逸・三好政康・岩成友通）軍は堺の近郊で対峙していました。降誕祭（クリスマス）の頃、堺にいた宣教師ルイス・フロイスは、キリシタン相互の一致和合と愛を示すため、街の会合所を借り受け、クリスマスのミサを行ったといわれています。会合所はクリスマスをお祝うために飾り付けられ、降誕祭の夜にはキリシタンたちが集まり、ミサを行いました。翌日のミサの参列者の中には、対峙していた両軍から来たものが70名ほどいて、敵味方の区別なく、友愛と礼儀を持って交流したといわれています。彼らがクリスマスのミサに参列したことで、当日の戦いはなく、事実上のクリスマス休戦となりました。

キリシタンたちのクリスマスは、キリシタン以外の町の人々には珍しかったようで、会合所の中を一目見ようと、戸をこじ開けようとするものまでいたそうです。



★鎖国時代のクリスマス

1587（天正 15）年、バテレン追放令が出され、宣教師やキリシタンたちへの風当たりは強くなり始めました。徳川家康の治世では一時的に布教が許されたものの、1613（慶長 15）年に江戸幕府はキリスト教禁止令発布し、キリスト教の取り締りを始めます。その後、日本は鎖国状態になりました。しかし、檀家や氏子を装いつつも、キリスト教の教えや習俗を守っていた「隠れキリシタン」たちがいました。クリスマスは地方や集団によって、「御主のナタラ」「ご誕生」「霜月の祝い」「おたいや」など様々な名前と呼ばれ、祝われました。クリスマス当日は「御メーサン」（ミサ）を行い、夜を徹して飲食を供にするのが慣わしだったそうです。ちなみに、当時唱えられていた「オラショ」（祈祷）は、福岡県の生月島に現在でも伝わっています。

また、鎖国下においてオランダとの貿易口となっていた出島には、オランダ人も住んでいました。彼らはキリスト教徒であることを公に出来ないことから、唐人（中国人）の「唐人冬至」という行事にならない、「阿蘭陀冬至」と称して、クリスマス祝っていたそうです。ただし、クリスマスであるということは伏せられていたと言われていました。ただ、出島において、幕府はキリスト教を黙認していたところがあるそうです。

★今回はキリスト教伝来時のクリスマスから、江戸時代のクリスマスを紹介しました。

次回は開国後から現代までのクリスマスがどうやって変化していったのかをご紹介します。

《参考文献》

『クリスマス どうやって日本に定着したか』（クラウス・クラハト、克美・タテノクラハト／角川書店／1999）196.3/H

『クリスマスの招き 聖書伝承・歴史・美術』（今橋朗・船本弘毅・松本富士男 編／燦葉出版社／1983）196.3/I

『日本史 4—キリシタン伝来のころ』（ルイス・フロイス／東洋文庫 164／平凡社／1978）080/H/164

《参考サイト》

- ・日本クリスマス博物館 <http://www.christmasmuseum.jp/index.html>
- ・ナショナルジオグラフィック <http://nng.nikkeibp.co.jp/nng/index.shtml>
- ・Wikipedia（URL 省略）



●冬休み貸出のお知らせ（学部学生対象）

貸出期間：12/8（月）～12/22（月）

貸出冊数：10冊



返却日：1/13（火）

どうぞご利用下さい！

●12・1月の図書館のご案内

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●開館時間

月曜日～金曜日 9：00～19：00（2階閲覧室は8：30からご利用いただけます）

土曜日 10：00～14：00

※12/16（火）…クリスマス礼拝のため閉館

※12/23（火）から1/4（日）の期間は、冬休みのため閉館

※1/5（月）の開館時間…9：00～17：00

※他大学へ複写依頼をする場合、12月2週目以降に受け付けた分の文献のお渡しは1/5以降になることがあります。ご了承下さい。